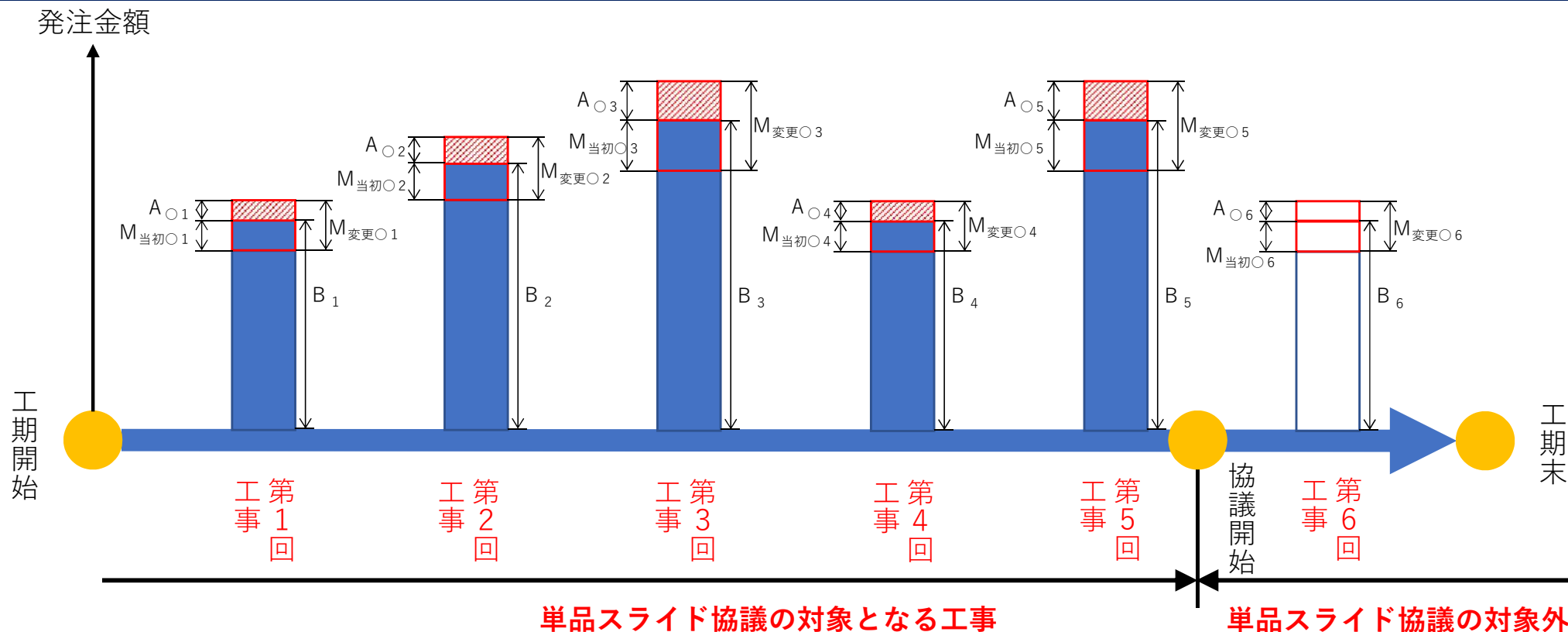


【対象工事】

- 協議開始の日までに引渡しが完了している工事
- 協議開始の日までに発注した工事で、引渡しが協議開始の日以降になるが、協議開始の日時点でスライド額算定に必要な数量が確定している工事

単価契約におけるスライド額の算出方法

令和4年6月
総務部入札課



【スライド額の計算方法】

$A_{〇n} = M_{\text{変更〇}n} - M_{\text{当初〇}n}$ (■ の部分) ※品目ごとに算出 (算出方法は運用基準による)
 $M_{\text{当初〇}n}$: 第n回工事の契約単価より算出した品目〇の金額
 $M_{\text{変更〇}n}$: 第n回工事の現場搬入時の実勢価格又は受注者購入価格より算出した品目〇の金額

■ の合計 > ■ の合計 × 1 / 100 となれば、その品目はスライド対象となる。

$$\begin{aligned}
 S &= \text{スライド対象になった品目の } \text{ ■ \text{ の合計} - \text{ ■ \text{ の合計} \times 1 / 100 \\
 &= (A_{\text{鋼}1} + A_{\text{鋼}2} + A_{\text{鋼}3} + A_{\text{鋼}4} + A_{\text{鋼}5}) + (A_{\text{油}1} + A_{\text{油}2} + A_{\text{油}3} + A_{\text{油}4} + A_{\text{油}5}) \\
 &+ (A_{\text{他}1} + A_{\text{他}2} + A_{\text{他}3} + A_{\text{他}4} + A_{\text{他}5}) - (B_1 + B_2 + B_3 + B_4 + B_5) \times 1 / 100
 \end{aligned}$$